

# 豪雨災害検証報告書の提言を踏まえた防災・減災対策の推進

## 1 改善方策の進捗状況（まとめ）

○検証委員会により提言された改善方策数 83項目（再掲除く）

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| ①出水期まで実施済  | 27項目、32.5%            |
| ②今年度中に対応予定 | 30項目、36.2%（①+② 68.7%） |
| ③今年度着手     | 23項目、27.7%（①～③ 96.4%） |
| ④中長期的な検討課題 | 3項目                   |

## 2 改善方策の実施状況（主なもの）

### ① 出水期までに実施済

#### 【県災害対策本部の体制強化等】

- ・ 豪雨災害の課題を踏まえた「愛媛県地域防災計画」の修正（6/10修正）
- ・ 「県災害対策本部」の体制強化（応援職員調整班及び被災市町支援班の設置、県派遣リエゾンの体制強化等）
- ・ 風水害を想定した災害時対応計画の策定及び研修（5/28）・図上訓練（6/11）
- ・ 被災時の県内各市町間の応援を円滑に行うためのカウンターパート関係の構築
- ・ 広域防災・減災対策検討協議会等を活用した出水期に向けた関係機関の連携強化
- ・ テレビ会議システムの拡充整備＜当初予算＞（6月に5出先機関に順次整備）

#### 【避難対策】

- ・ 5段階の警戒レベルによる避難情報の住民への周知と理解促進
- ・ テレビ会議システムを利用した气象台・県・市町等との気象情報の共有及び住民に対する早めの避難呼びかけなど、「発災前からの警戒体制の強化」
- ・ 効果的な避難情報の伝達に関する県・市町担当者の研修の実施（5/17実施）

#### 【被災者支援】

- ・ 仮設住宅建設用地及び災害廃棄物仮置き場の事前確保

### ② 今年度中に対応予定

#### 【県災害対策本部の体制強化等】

- ・ 風水害等に対する関係機関等の防災タイムラインの作成＜当初予算＞

#### 【避難対策】

- ・ 消防学校における防災士等の地域防災リーダーの実践力強化＜当初予算＞
- ・ 住民の避難行動を促すDVD作成と防災啓発講座等の実施＜当初予算＞

#### 【被災者支援】

- ・ 県下統一の罹災証明書の発行システムの導入＜当初予算＞
- ・ 救援物資供給マニュアルの見直し及び物資拠点運営マニュアルの作成
- ・ 県・市町における被災者の心のケア・生活相談体制の整備

### ③今年度着手

#### 【県災害対策本部の体制強化等】

- ・ 人的・応援職員を円滑な受入れを可能とする市町の受援計画の策定支援  
＜6月補正予算＞
- ・ 災害情報システムの改善・高度化  
＜当初予算（～令和2年度）＞

#### 【避難対策】

- ・ 防災行政無線の屋外スピーカーの高性能化及び戸別受信機の整備  
＜当初予算（～令和2年度）＞
- ・ 全国1位を目指した防災士の更なる養成  
＜当初予算（～令和4年度）＞
- ・ 地区防災計画の策定支援など「自主防災組織の活動支援」  
＜当初予算（～令和3年度）＞

#### 【被災者支援】

- ・ 災害時応援協定の積極的な締結、検証を踏まえた協定内容の見直し
- ・ 市町の高齢者等要支援者個別計画の策定支援
- ・ 市町の避難所運営マニュアル及び避難所ごとの運営マニュアルの作成支援
- ・ 災害時要配慮者支援チーム員等を対象とした養成研修の実施による福祉避難所等の運営体制の整備

#### 【その他】

- ・ 死者・行方不明者の氏名公表について、国による統一基準の策定を要望

### ④中長期的な課題として対応を検討

#### ■物資拠点の見直し

物資拠点として推奨される統一的な基準（面積、耐震性、大型トラックの進入の可否等）を検討したうえでの追加指定（民間施設の活用含む）の検討

#### ■災害対応執務スペースの充実等

統括司令部の各班・グループ、国や防災関係機関のリエゾンが活動できるスペースの確保や災害対応職員が休憩や宿泊ができる設備の整備